

主要農作物の生育・出荷状況

令和元年7月24日現在
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稻】 ○6月中旬及び7月上旬の低温の影響により、平年と比べ茎数は2割少なく、草丈は10cm程度短い。幼穂形成期は平年より2～4日遅い。 ○いもち病が発生しやすい気温、天候が続いたが、薬剤による予防防除が7月中旬から行われており、発生はわずかである。</p> <p>【そば】 ○6月は平年より降雨が多かったため、夏そばでは湿害による葉の黄化が見られ、生育はやや不良。7月末収穫予定であるが、収量は平年より下がる見込。 ○降雨の合間に秋そば播種準備が進められており、7月中旬から播種作業開始。</p>
野菜	<p>【トマト】 ・例年並みの7/9より選果場稼働(昨年度は7/10)。 ・平年より低温で推移しているため、着色の遅れにより出荷開始が遅れているほ場が多く、出荷量は例年の5割程度となっている。 ・病害は灰色かび病の発生が多く、その他かいよう病、茎えそ細菌病が散見される。害虫はアザミウマ類、オオタバコガが散見される。</p> <p>【アスパラガス】 ・ハウス半促成栽培は例年通り6月中旬から夏芽の出荷が開始された。日量出荷量(7/17現在)は、低温の影響で例年の6～7割程度となっている。 ・露地栽培では擬葉展開中。 ・ジュウシホシクビナガハムシおよびヨトウムシが多発しており、褐斑病、茎枯病、ハダニ、アザミウマ類が発生し始めている。</p>
花き	<p>【リンドウ】 7/13から「ながの極早生」出荷開始、昨年と比較して、7日ほど遅い出荷。ながの2号(早生品種)については、節数は平年並み、草丈は、平年より10cm程度長い。7/21現在出荷量 157cs 昨年と同程度 病虫害の発生については、中生の品種に灰色カビ病、葉枯病が散見される。</p> <p>【カスミソウ】 季咲き作型が出荷終盤。7/19現在 90cm規格180円。昨年よりやや安い。 新植株にハモグリバエ類、アオムシ類の虫害が中発生。</p>
果樹	<p>【リンゴ】 ○果実肥大状況はほぼ平年並みで推移している。 ○作業の進捗状況は、ほとんどの生産者が仕上げ摘果を終えており、大幅な遅れは見られない。</p>
畜産	<p>【飼料作物】 永年性牧草2番草の収穫は平年よりやや早い7/10頃より始まったが、雨の影響により収穫に入れない草地がある。</p>